

産業建設常任委員会活動レポート

開催日時：令和3年11月4日（木）

開催場所：1・2号委員会室

経 済 部

1. 農業振興について

町営牧場の出牧状況を視察する予定でしたが荒天のため中止し、役場で担当部局より牧場の現状等の説明を受けました。

【主な質疑内容】

委員：3年度当初計画数と実績及び収支の見込みは？

担当：令和3年度の当初計画では、延べ頭数124,309頭（807頭/日）、放牧料は34,030,653円（1頭当@273円）と見込んでいましたが、現在の見込みでは当初計画より若干少なくなります。

委員：種付けと妊娠牛の管理方法、妊娠牛の受け入れや出牧の実績は？

担当：町営牧場では、育成牛を預かり妊娠発情と受精適期に応じ人工授精の実施をし、さらに妊娠牛の受け入れも行っています。今年度の妊娠牛の受け入れは263頭で、受け入れ後に人工授精した牛は531頭で、その内、妊娠した牛は429頭でした。（11月4日現在）

妊娠前は起伏のある草地で過ごしますが、妊娠後は母体の健康に配慮し比較的平らな草地にて分娩の1ヶ月前まで過ごします。

委員：町営牧場への預託のメリットは？

担当：育成牛を預託することで給餌、排せつ物処理作業などの労働軽減につながり、搾乳牛の管理に集中できるなど、余力を残して他の作業に取り掛かることが可能となります。また、育成牛を預託する分の草地を自ら管理しなくても、育成期の放牧による十分な運動と良質な草の摂取によって足腰が強く、ストレスが少ない健康な牛づくりができます。

産業建設常任委員会では、町営牧場が適正に運営され酪農家の経営負担軽減につながるよう、現地視察なども含め調査・審査を行っていきます。